

6/18.3.23

岸田文雄政権が16日、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2023」を閣議決定しました。27年度までの5年間に43兆円もの大軍拡を進める一方、首相が重慶とする予算予算の倍増は「30年代初頭まで」とされ、いつになるか不明確です。どちらも財源があいまいにされ、予算編成の指針として体をなしていません。

主張

## 骨太の方針2023

め敵基地攻撃能力の保有を明確に示す

ますか。子爵の構成だけがあります。43兆円の大軍拡を最優先するん。といふに行き詰まりの根源があります。

られました。大企業は研究開発費を減税などさまざまの優遇を受け、専門的な負担率は10%程度にすぎず、せん。

公正な税制で財源確保を  
た歳出改革」を明言しています。

大軍拡財源に税外収入をあてる  
軍拡財源法は18日の参院本会議で  
自民、公明などの賛成で成立しま  
した。24年表題としていた増税に  
ついて骨太の方針は「令和7年以  
降のしかるべき時期」も可能とな  
が武力行使とができます。

株式会社は、東洋の自衛権の行使として敵地攻撃を行つたと認めています。金融資本の多い富裕層に有利な仕組みです。年間の所得が一億円を超えると所得税

日本本邦銀行は、大蔵省をやめ、  
富裕層や大企業に能力を応じた負  
担を求める税財政改革を行ひ、よ  
り20兆円程度の財源を確保する方

卷之三

昨年に続き、骨太の方針が前面に打ち出されたのが大軍拡です。「日米同盟の抑止力と対処力」を強化するため、安保3文書に基づいて「27年度までの5年間で防衛力を抜本的に強化する」として、ます。スタンド・オフ防衛能力、統合防空ミサイル防衛能力をはじめ

## 軍拡・大企業優先の行き詰まり

卷之三

昨年に続き、骨太の方針が前面

昨年に続き、曾太の方針が前面に打ち出しだのが大軍撃です。

昨年に続き、骨太の方針が前面に打ち出しだのが大本拠です。

昨年に続き、曾太の方針が前面に打ち出されたのが大軍旗です。「日米同盟の抑止力と対処力」を強化するため、安保3文書に基づいて「27年度までの5年間で防衛力を抜本的に強化する」としている

るより「柔軟に判断する」として、25年以降に先送りしました。あくまで軍拡に固執する方針です。子ども予算倍増の財源については、「社会全体でどう支えるかさらには「検討する」と、具体策は年末まで先送りしました。「」なども、子育て支援加速化プラン」を掲げたところ、「大企業・富裕層を優遇する税制をめぐる予算の財源確保を妨げています。法人税率は安倍晋三政権下で28%から23・2%に引き下げ

源は生まれません。骨太の方針は子ども学費の財源について「消費税を含めた新たな税負担は考え方としていますが、国民に負担増が押しかけられる」ととなります。

課税を強化する」とが欠かせない。所得税の最高税率を下げるなど、所得の分配を均等化する。前回に述べたとおりである。

まで先送りしました。「JINも、子育て支援加速化プラン」を掲げています。法人税率は安倍晋三政権下で28%から23・2%に引き下げ

岸田首相は13日に「Jとも未来戦略方針」を閣議決定した後の記者会見で

の運営の問題をもつてゐる。中でも最も問題となるのは、中高生の問題である。